

名古屋港管理組合公報

平成20年7月1日

(火曜日)

第418号

目次

告 示

- 施設運営事業会計及び埋立事業会計の業務の状況の公表……………1
- 公 告
- 平成20年度鍋田ふ頭貸付地ロジスティクスハブ形成事業者募集要項……………7
- 議 会 事 項
- 6月定例会名古屋港管理組合議会の結果……………7

告 示

名古屋港管理組合告示第22号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2及び名古屋港管理組合港湾整備事業の設置等に関する条例(昭和41年名古屋港管理組合条例第12号)第7条の規定に基づき、施設運営事業及び埋立事業の平成19年10月1日から平成20年3月31日までの期間における業務の状況を次のとおり公表する。

平成20年7月1日

名古屋港管理組合管理者

愛知県知事 神田 真秋

名古屋港管理組合施設運営事業会計の業務の状況

1 事業の概況

(1) 経營業務

この期間中における各事業の収益額及び提供施設量は、次のとおりである。

区 分	収 益 額	提 供 施 設 量	
	円		
上 屋 運 営 事 業	656,506,426	一般使用	23 棟 (91,093㎡)
		専用使用	20 棟 (40,677㎡)
貯 木 場 運 営 事 業	145,581,038	一般使用	1 場所 (455,450㎡)
		専用使用	7 場所 (995,430㎡)
荷 役 機 械 運 営 事 業	1,039,725,038		13 基
ひ き 船 運 営 事 業	389,347,491		4 隻

(注) 提供施設量は、平成20年3月31日現在の数量であり、面積は、有効面積である。

(2) 建設改良事業

ア 上屋整備事業

稲永ふ頭受電所直流電源装置改修工事を施工した。

イ 荷役機械整備事業

飛鳥ふ頭北4号起重機ヘッドブロック製造工事等を施工した。

2 経理の状況

(1) 平成19年度予算に対する執行済額

区 分	予 算 額	執 行 済 額	備 考
	円	円	
(収益的収入及び支出)			
施設運営事業収益	3,851,172,000	4,206,740,465	
施設運営事業費用	3,849,172,000	3,738,501,373	
(資本的収入及び支出)			
資 本 的 収 入	81,030,000	81,000,000	
資 本 的 支 出	1,254,000,000	1,242,696,568	資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,161,696,568円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,202,638円、減債積立金306,107,019円及び過年度分損益勘定留保資金854,386,911円で補てんした。

(2) 施設運営事業会計合計残高試算表

平成20年3月31日現在

借 方			勘 定 科 目	貸 方		
残 高	合 計	当 期		当 期	合 計	残 高
円	円	円		円	円	円
15,486,964,270	35,480,423,770	785,004,462	固 定 資 産	2,052,858,981	19,993,459,500	
14,557,394,001	34,264,810,783	785,004,462	有形固定資産	1,766,816,263	19,707,416,782	
200,570,269	205,612,987		無形固定資産	5,042,718	5,042,718	
729,000,000	1,010,000,000		投 資	281,000,000	281,000,000	
3,082,869,908	13,168,630,773	6,287,593,542	流 動 資 産	6,086,302,044	10,085,760,865	
2,542,887,149	7,320,361,718	2,884,563,231	現金・預金	2,793,684,893	4,777,474,569	
496,877,331	5,195,323,992	2,814,310,537	未 収 金	2,684,563,231	4,698,446,661	
13,305,428	16,365,409	2,125,920	貯 蔵 品	2,974,266	3,059,981	
	400,000,000	400,000,000	短期貸付金	400,000,000	400,000,000	
29,800,000	236,579,654	186,593,854	その他流動資産	205,079,654	206,779,654	
	4,985,421,263	2,980,087,220	流 動 負 債	2,896,429,495	5,319,386,997	333,965,734
	4,777,474,569	2,793,684,893	未 払 金	2,709,814,292	5,076,684,437	299,209,868
	207,946,694	186,402,327	その他流動負債	186,615,203	242,702,560	34,755,866
	1,217,441,168	614,342,768	資 本 金	306,107,019	13,184,214,358	11,966,773,190
			自己資本金	306,107,019	7,683,180,910	7,683,180,910
	1,217,441,168	614,342,768	借入資本金		5,501,033,448	4,283,592,280
	612,214,038	306,107,019	剰 余 金		6,414,379,287	5,802,165,249
			資本剰余金		5,802,165,249	5,802,165,249
	612,214,038	306,107,019	利益剰余金		612,214,038	
	163,212,407	163,212,407	施設運営事業収益	2,309,033,039	4,206,740,465	4,043,528,058
	163,212,407	163,212,407	営 業 収 益	2,298,127,803	4,192,171,391	4,028,958,984
			営 業 外 収 益	10,905,236	14,569,074	14,569,074
3,576,598,053	3,661,478,340	2,599,117,525	施設運営事業費用	84,734,365	84,880,287	
3,397,027,983	3,481,908,270	2,514,954,674	営 業 費 用	84,734,365	84,880,287	
179,570,070	179,570,070	84,162,851	営 業 外 費 用			
22,146,432,231	59,288,821,759	13,735,464,943	合 計	13,735,464,943	59,288,821,759	22,146,432,231

3 平成20年度予算の概要

(1) 経營業務

各事業の収益予定額及び提供施設量は、次のとおりである。

区 分	収 益 額	提 供 施 設 量		
	円			
上 屋 運 営 事 業	1,174,553,000	一般使用	23 棟	(91,093㎡)
		専用使用	18 棟	(39,367㎡)
貯 木 場 運 営 事 業	375,336,000	一般使用	1 場所	(455,450㎡)
		専用使用	7 場所	(995,430㎡)
荷 役 機 械 運 営 事 業	1,643,436,000		13 基	

(注) 面積は、有効面積である。

(2) 建設改良事業

ア 上屋整備事業

金城ふ頭開閉所継電器盤の改修を行うものである。

イ 荷役機械整備事業

飛島ふ頭南2号起重機電装品等の改修を行うものである。

(3) 平成20年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算

(総 則)

第1条 平成20年度名古屋港管理組合施設運営事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

区 分	施 設	事 項	備 考
事 業 量	上 屋 41 棟	一般使用許可面積	91,093 ^{平方メートル}
		専用使用許可面積	39,367 ^{平方メートル}
	貯 木 場 8 場所	一般使用許可面積	455,450 ^{平方メートル}
		専用使用許可面積	995,430 ^{平方メートル}
	荷 役 機 械 13 基	使 用 時 間	16,832 ^{時間}
	施設の維持補修及び施設の増補・改良工事	施設維持補修工事及び上屋等整備工事	759,000 ^{千円}

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収 入	
第1款	施設運営事業収益	3,307,000千円
第1項	営業収益	3,296,404千円
第2項	営業外収益	10,576千円
第3項	特別利益	20千円
	支 出	
第1款	施設運営事業費用	3,312,000千円
第1項	営業費用	3,020,688千円
第2項	営業外費用	243,987千円
第3項	特別損失	37,325千円
第4項	予備費	10,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,231,980千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんするものとする。)

	収 入	
第1款	資本的収入	415,020千円
第1項	固定資産売却代金	334,000千円
第2項	寄附金	10千円
第3項	貸付金返還金	81,000千円
第4項	その他資本的収入	10千円

		支	出	
第1款	資	本	的	支
	資	本	的	支
第1項	建	設	改	良
第2項	固	定	資	産
第3項	企	業	債	償
				還
				金
				1,647,000 千円
				241,600 千円
				333 千円
				1,405,067 千円

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、400,000千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第6条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費 462,528千円

(たな卸資産購入限度額)

第7条 たな卸資産の購入限度額は、20,000千円と定める。

(重要な資産の取得及び処分)

第8条 重要な資産の処分は、次のとおりとする。

処分する資産	種	類	名	称	数	量	処	分	の	態	様
	船	船	金	城	丸	1	隻	売	払	い	

名古屋港管理組合理立事業会計の業務の状況

1 事業の概況

(1) 経營業務

この期間中の収入は、受取利息、埋立地貸付料等による210,465,544円である。

これに対する支出は、一般管理費、維持補修費、一般会計負担金等の225,565,109円である。

(2) 造成事業

ア 南部地区事業

この期間における事業の概要は、公共緑地等の維持に関する業務委託を行った。

イ 西部地区事業

この期間における事業の概要は、西部第1貯木場跡地において用地整備、西部第2貯木場跡地において道路補修及び用地整備、木場金岡ふ頭において構造物撤去等を行った。

ウ 南5区事業

この期間における事業の概要は、護岸及び門扉修繕等を行った。

2 経理の状況

(1) 平成19年度予算に対する執行済額

区	分	予	算	額	執	行	済	額	備	考
				円				円		
	(収益的収入及び支出)									
	埋立事業収益	303,000,000			349,078,954					
	埋立事業費用	439,000,000			407,984,726					
	(資本的収入及び支出)									
	資本的収入	1,681,000,000			1,757,108,854					
	資本的支出	2,371,000,000			2,099,500,031					

(2) 埋立事業会計合計残高試算表

平成20年3月31日現在

借 方			勘 定 科 目	貸 方		
残 高	合 計	当 期		当 期	合 計	残 高
円	円	円		円	円	円
8,085,028,582	8,365,472,939	500,000,000	固 定 資 産	276,175,985	280,444,357	
1,028,582	5,472,939		有形固定資産	175,985	4,444,357	
8,084,000,000	8,360,000,000	500,000,000	投 資	276,000,000	276,000,000	
73,454,027,643	109,388,674,050	536,951,742	土 地 造 成	207,217,968	35,934,646,407	
786,679,778	786,679,778		完成土地			
72,667,347,865	108,601,994,272	536,951,742	未成土地	207,217,968	35,934,646,407	
13,178,102,969	18,764,008,344	3,798,986,331	流 動 資 産	3,801,790,717	5,585,905,375	
12,975,044,192	16,308,550,506	1,909,709,426	現金・預金	1,903,585,933	3,333,506,314	
162,118,777	2,323,522,480	1,834,984,647	未 収 金	1,809,709,426	2,161,403,703	
40,940,000	113,095,200	41,495,200	前 払 金	72,155,200	72,155,200	
	18,840,158	12,797,058	その他流動資産	16,340,158	18,840,158	
			固 定 負 債	1,220,451,225	59,577,207,061	59,577,207,061
			前 受 金	1,220,451,225	59,453,795,061	59,453,795,061
			その他固定負債		123,412,000	123,412,000
	2,575,233,238	1,432,505,932	流 動 負 債	1,529,336,675	2,740,313,501	165,080,263
	2,533,506,314	1,403,585,933	未 払 金	1,494,655,004	2,691,093,285	157,586,971
	41,726,924	28,919,999	その他流動負債	34,681,671	49,220,216	7,493,292
	1,192,316,000	751,429,000	資 本 金	5,000,000	35,234,273,190	34,041,957,190
			自己資本金	5,000,000	31,938,437,190	31,938,437,190
	1,192,316,000	751,429,000	借入資本金		3,295,836,000	2,103,520,000
	15,423,877	5,000,000	剰 余 金		999,072,699	983,648,822
			資本剰余金		3,108,894	3,108,894
	15,423,877	5,000,000	利益剰余金		995,963,805	980,539,928
			欠 損 金			
	2,692,684	2,692,684	埋立事業収益	213,158,228	349,079,046	346,386,362
	2,692,684	2,692,684	営業外収益	213,158,228	349,079,046	346,386,362
397,120,504	403,442,996	231,534,311	埋立事業費用	5,969,202	6,322,492	
384,951,604	391,274,096	231,534,311	営 業 費 用	5,969,202	6,322,492	
12,168,900	12,168,900		営 業 外 費 用			
			特 別 損 失			
95,114,279,698	140,707,264,128	7,259,100,000	合 計	7,259,100,000	140,707,264,128	95,114,279,698

3 平成20年度予算の概要

(1) 経營業務

埋立事業収益は、受取利息、埋立地貸付料等で338,000千円を予定している。

埋立事業費用は、一般管理に要する費用である一般管理費、清算地区施設の維持補修に要する費用である維持補修費、共通経費等一般会計への負担金である一般会計負担金等で388,000千円を予定している。

(2) 造成事業

南部地区においては、跳上橋補修工事、南部地区維持管理等を予定している。

西部地区においては、前年度に引き続き西部第1貯木場跡地及び西部第2貯木場跡地の用地整備等を予定している。

南5区においては、路面性状調査、南5区維持管理等を予定している。

(3) 平成20年度名古屋港管理組合理立事業会計予算

(総則)

第1条 平成20年度名古屋港管理組合理立事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

用地整備 39,200平方メートル

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

		収 入		
第1款	埋立事業	収益		338,000千円
第1項	営業外	収益		337,970千円
第2項	特別	利益		30千円
		支 出		
第1款	埋立事業	費用		388,000千円
第1項	営業	費用		363,792千円
第2項	営業外	費用		14,178千円
第3項	特別	損失		30千円
第4項	予備	費		10,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,266,000千円は、繰越工事資金で補てんするものとする。)

		収 入		
第1款	資本的	収入		543,000千円
第1項	雑	収入		367,000千円
第2項	貸付金	返還金		176,000千円
		支 出		
第1款	資本的	支出		1,809,000千円
第1項	南部地区	埋立事業費		25,100千円
第2項	西部地区	埋立事業費		526,000千円
第3項	南5区	埋立事業費		48,900千円
第4項	総	係費		189,540千円
第5項	企業	債費		1,001,575千円
第6項	雑	支出		7,885千円
第7項	予備	費		10,000千円

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

各項に計上した給料、手当及び法定福利費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費 359,182千円

(たな卸資産購入限度額)

第8条 たな卸資産の購入限度額は、4,500千円と定める。

公 告

名古屋港管理組合公告

名古屋港の活発な物流需要に対応し、物流機能の強化を図るため、コンテナ機能の集積する名古屋港西部地区において、ロジスティクスハブ形成に資する事業の提案を募集します。

なお、この提案募集要項の公表については、下記のとおりです。

平成20年7月1日

名古屋港管理組合管理者
愛知県知事 神田 真秋

記

名古屋港のホームページ：[http:// www.port-of-nagoya.jp](http://www.port-of-nagoya.jp)

配 布 場 所：名古屋市港区入船一丁目8番21号
名古屋港管理組合企画調整室産業ハブ港担当

問い合わせ先：名古屋港管理組合企画調整室産業ハブ港担当
電話番号 052-654-7902

議 会 事 項

6月11日招集された定例名古屋港管理組合議会は、会期を1日と決定し、同日議事終了閉会した。

付議事件等及びその結果は、下記のとおりである。

記

- 1 議長選挙
浜田 一 徳 議員当選
- 2 副議長選挙
ひざわ 孝 彦 議員当選
- 3 常任委員会委員の選任
企画総務委員会

港営建設委員会

伊 藤 辰 夫
かじ山 義 章
福 田 誠 治
杉 山 ひとし
桂 俊 弘
大 竹 正 人
中 川 貴 元
水 野 豊 明
伊 神 邦 彦
堀 場 章
山 田 幸 洋
さとう 典 生
倉 知 俊 彦
梅 村 邦 子
浜 田 一 徳
中 野 治 美
木 下 優
古 俣 泰 浩
森 下 利 久
山 下 史守朗
中 根 義 一
富 田 昭 雄
藤 沢 忠 将
うかい 春 美
山 口 清 明
岡 地 邦 夫
梅 村 麻美子
筒 井 夕 陽
久 野 浩 平
ひざわ 孝 彦

なお、委員長及び副委員長は、各委員会において互選の結果、次のとおり決定された。

企画総務委員会 委員長 大 竹 正 人

	副委員長	伊 神 邦 彦	
港営建設委員会	委員長	梅 村 麻美子	
	副委員長	中 根 義 一	
4 庁舎建設等特別委員会設置について		可 決	
		閉会中継続調査	
5 同特別委員会委員の選任			
		中 野 治 美	
		木 下 優	
		伊 藤 辰 夫	
		古 俣 泰 浩	
		かじ山 義 章	
		福 田 誠 治	
		森 下 利 久	
		山 下 史 守 朗	
		中 根 義 一	
		杉 山 ひとし	
		富 田 昭 雄	
		桂 俊 弘	
		大 竹 正 人	
		藤 沢 忠 将	
		中 川 貴 元	
		水 野 豊 明	
		うかい 春 美	
		山 口 清 明	
		伊 神 邦 彦	
		堀 場 章	
		岡 地 邦 夫	
		梅 村 麻美子	
		山 田 幸 洋	
		さとう 典 生	
		筒 井 夕 佳	
		倉 知 俊 彦	
		梅 村 邦 子	
		久 野 浩 平	
		ひざわ 孝 彦	
		浜 田 一 徳	
		委員 長	浜 田 一 徳
		副委員 長	ひざわ 孝 彦
6 監査委員選任の同意について（組合議会議員）		同 意	
7 監査委員選任の同意について（名古屋市監査委員）		同 意	
8 意見書（名古屋港の整備促進について）		可 決	
9 各常任委員会における閉会中の継続調査について		可 決	
10 議員派遣について		可 決	

なお、委員長及び副委員長は、特別委員会において互選の結果、次のとおり決定された。